

経営比較分析表（令和5年度決算）

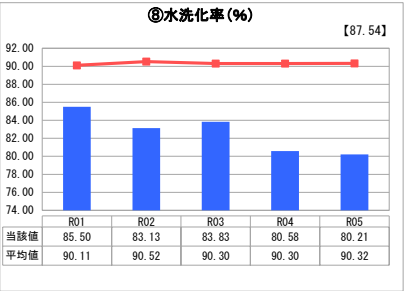
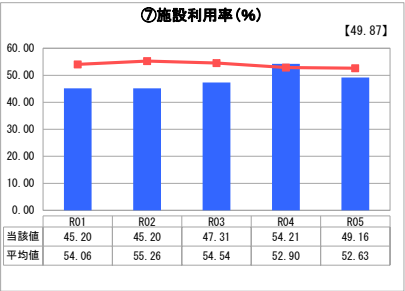
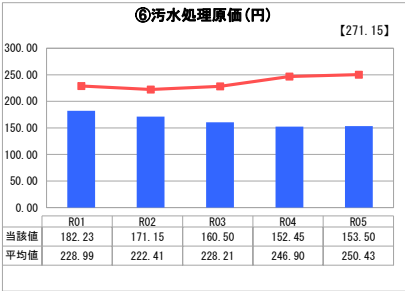
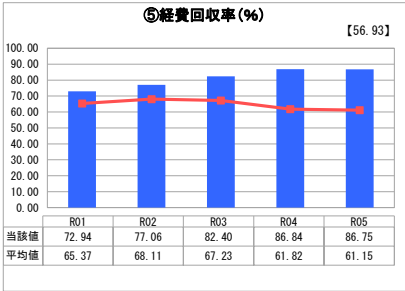
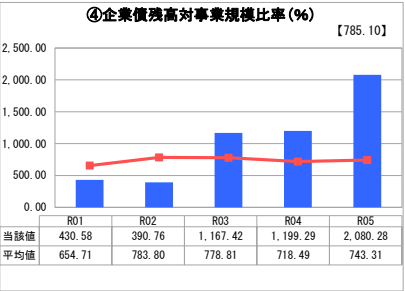
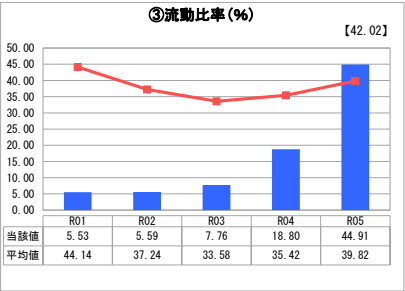
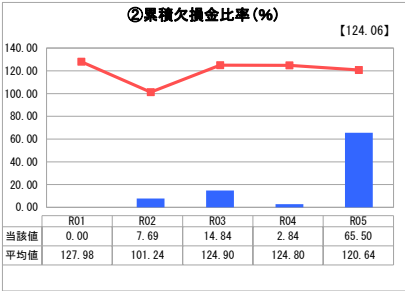
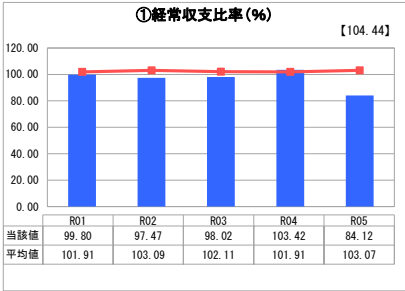
石川県 加賀市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家産料金(円)
-	34.15	6.24	92.77	2,700

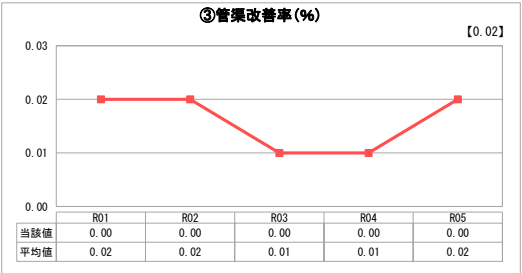
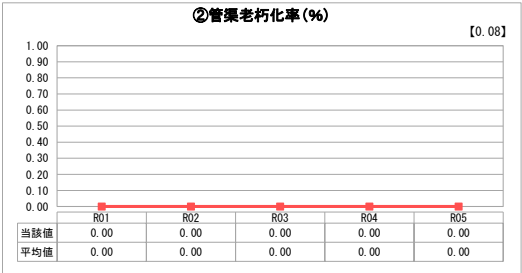
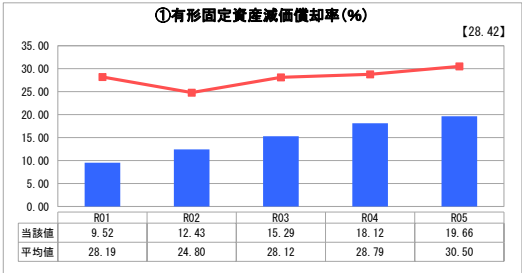
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
62,545	305.87	204.48
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,881	2.08	1,865.87

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本事業の整備は完了しており、今後、接続率の上昇により、使用料収入は安定していく予定であるが、人口減少による収益の減少が予測されるため、黒字化は難しい状況である。
人口減少の傾向であるが、流動比率、経常収支比率の改善に向けて費用削減、施設利用率の向上に取り組む必要がある。

2. 老朽化の状況について

供用開始後25年以上経過している施設もあり、施設及び管路の老朽化が進んでいることから、現存の施設をより最適に有効活用できるよう更新し、平準化と長寿命化に努めていく。

全体総括

本事業は、令和元年度に整備を完了し、令和4年度末に2か所の浄化センターを公共下水道へ編入完了しており、今後は、更新と維持管理に重点を置く。
人口減少等により有収水量の減少も見込まれることから、水洗化率の向上と維持管理費の節減や施設の有効活用により経費を削減し、健全な経営に努めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。